

**平成27年度進行管理・評価シート**  
**国見町歴史的風致維持向上計画（平成27年2月23日認定）**

**口進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実現に向けた推進体制	.....	1
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 阿津賀志山防塁史跡整備事業	.....	2
2 無形民俗文化財活動支援事業	.....	3
3 歴史的町並み調査事業	.....	4
4 国見石保存・活用調査事業	.....	5
5 歴史を活かしたまちづくり推進事業	.....	6
6 情報発信拠点整備事業	.....	7
7 文化財保存ガイダンス施設整備事業	.....	8
8 案内ボランティア育成事業	.....	9
9 周遊性向上検討・案内板設置事業	.....	10
10 地域の文化遺産の総合的な把握のための調査事業	.....	11
11 文化財の維持修理に関する取組	.....	12
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組	.....	13
2 文化財の周辺環境の保全に関する取組	.....	14
3 文化財の防災に関する取組	.....	15
4 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	.....	16
5 埋蔵文化財の取扱いに関する取組	.....	18
6 文化財の保存活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組	.....	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 「旧小坂村産業組合石蔵」国登録文化財等	.....	20
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 文化財の保存・活用の普及・啓発による効果	.....	21
口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	.....	22

**評価軸①-1 組織体制**

	評価対象年度	平成26～27年度
項目	現在の状況	

計画の実現に向けた推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

計画に記載している内容 歴史まちづくり庁内検討委員会で計画推進のため庁内の連絡調整を行うものとする。「国見町歴史的風致維持向上計画協議会」に意見や協力を求めることとし、事務局・庁内検討委員会は連携・調整し、計画の推進や計画の変更について連絡調整を行い、必要に応じて国・県と協議しながら進める。

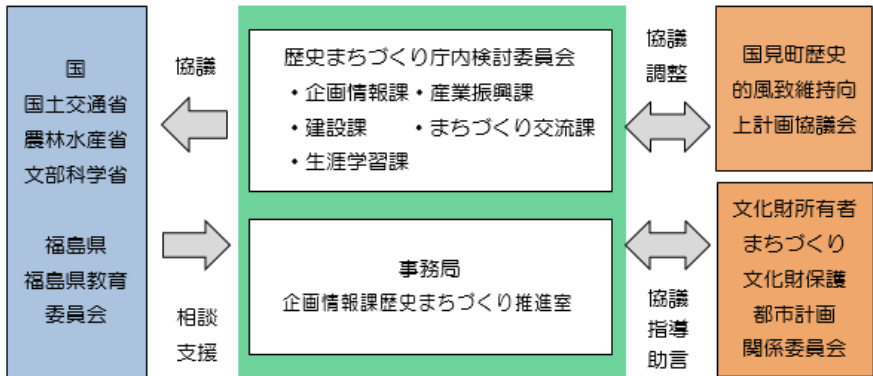
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくり推進室が事務局として、歴史まちづくり庁内検討委員会で事業の実施に係る調整、情報収集、進捗管理等を行った。  
 H27年定期人事異動により歴史まちづくり推進室が1名減の2名体制(H26年度3名⇒H27年度2名)となったが、組織機構の変更による「まちづくり交流課」の新設に伴い庁内検討委員会の体制強化を図った。(H26年度13名⇒16名)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

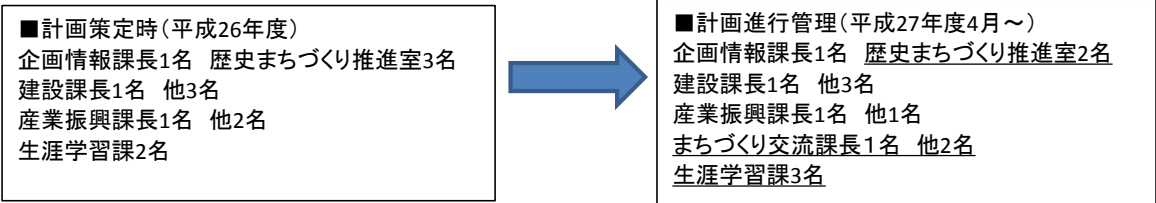
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史まちづくり計画の事業推進に向け、一層の情報共有と、目的の共有化を図ることが必要であり、連携を強化していく。
--	---

状況を示す写真や資料等



■計画の推進体制図

●組織の変更(歴史まちづくり庁内検討委員会)



●会議の状況

会議名称	開催年月日	概要
第1回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成27年4月21日	歴まち事業年次計画等
第2回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成27年6月3日	立地適正化、都市再生整備計画等
第3回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成27年12月3日	阿津賀志山防壁周辺整備等
第4回歴史まちづくり庁内検討委員会	平成28年3月10日	阿津賀志山防壁周辺整備等
第1回国見町文化財保護審議会	平成27年5月8日	26年度事業実績、27年度事業計画
第2回国見町文化財保護審議会	平成28年2月29日	27年度事業実績、28年度事業計画
第2回歴史的風致維持向上計画協議会	平成28年4月20日	27年度進行管理・評価



評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26～27年度
阿津賀志山防塁史跡整備事業	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～36年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業

計画に記載している内容 史跡の追加指定や公有地化した範囲を含め、整備に必要な情報を得る為の、史跡内容確認調査を行うとともに、堀・土塁などの復原整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①整備に向けた基本方針を定めた『阿津賀志山防塁整備基本構想』の策定(平成27年6月)
- ②『阿津賀志山防塁整備基本計画』(仮)の策定に向けた委員会の発足・開催(平成27年11月12日、平成28年3月24日)
- ③史跡整備に向けた第16次発掘調査の実施(平成27年10月～11月:国道4号北側地区)
- ④二重堀始点地区・国道4号北側地区・下二重堀地区 29筆等(11,220㎡)の追加指定(3月1日指定)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



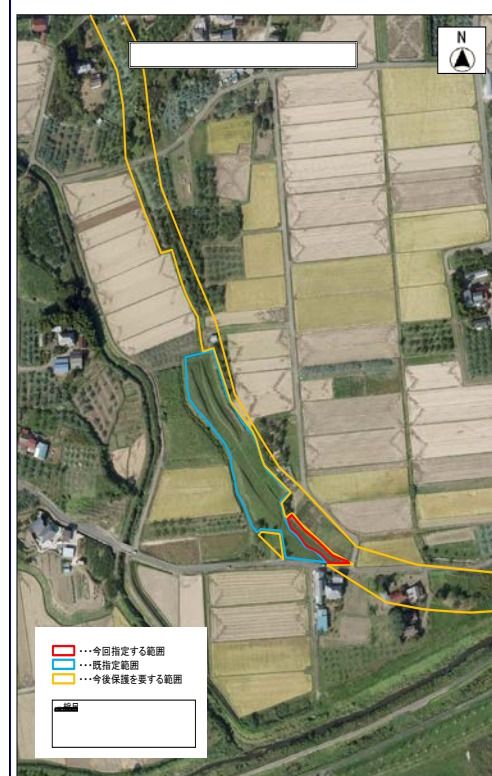
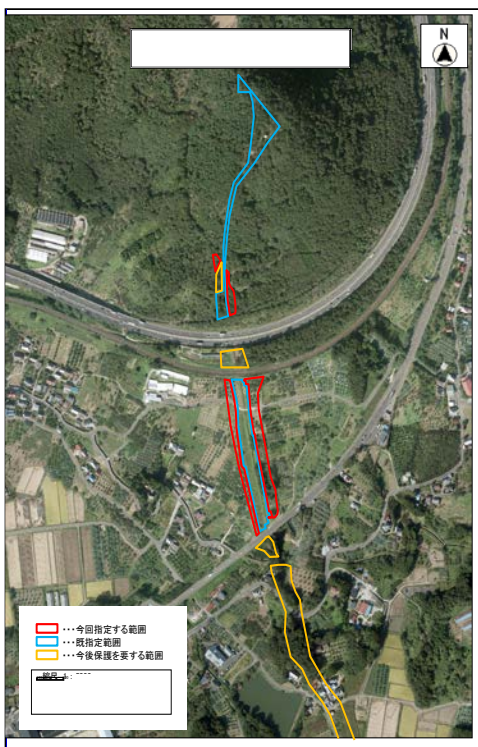
基本構想の建議



委員会現地視察・指導(11月12日)



16次調査現地説明会(11月3日)



評価軸③-2  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
無形民俗文化財活動支援事業		現在の状況	
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～36年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業、町単独事業		
計画に記載している内容	祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている団体と連携し、活動内容の把握と映像による記録作成などの学術調査を行うとともに、団体に対し伝統的な用具等の修繕や活動を保存していく活動に対して支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
内谷春日神社太々神楽については、神楽継承のため学術的記録を行った。(伝承されている22座のうち、18座を収録) 鹿島神社例大祭について、PRのためガイドブック3,000部を作成し、例大祭当日に配布した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



■太々神楽記録映像撮影  
平成27年7月5日、10月12日  
太々神楽保存会楽人により18座を記録撮影



■鹿島神社例大祭ガイドブック  
10月17日 3,000部作成  
「鹿島神社例大祭」にて配布

■無形民俗文化財支援

タイトル	年月日	概要等
鹿島神社例大祭ガイドブック	平成27年10月17日完成	ガイドブック(文化庁事業)
太々神楽記録映像保存事業	平成28年3月31日完成	記録映像(文化庁事業)
太々神楽保存会への支援	平成27年度	助成金(町単独)
伝統文化保存会への支援	平成27年度	フォトコンテスト開催支援(町単独)
子ども太々神楽教室	平成27年度	神楽舞継承のため担い手育成(町単独)

評価軸③-3  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
		現在の状況	
歴史的町並み調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～28年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業		
計画に記載している内容	特に重点区域内には、旧宿場町の面影を残す、町屋や養蚕業の隆盛を反映した養蚕住宅、石蔵等が残る農村集落が存在するが、十分な把握がなされていないため、所在調査や建築等の詳細調査を行い、歴史的風致形成建造物への指定を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域の歴史的建造物を把握するため、藤田地区および大木戸地区での建造物悉皆調査(1次調査:外観)を実施した。調査件数は2地区合わせて民家2,000件、寺社仏閣40件で、調査の結果、建築より50年以上経過していると想定される建造物が650件、寺社仏閣については32件確認された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



平成27年4月22日悉皆調査全体打合せ



平成27年6月より調査開始  
寺社仏閣の調査を先行して実施



調査の様子

評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
		現在の状況	
国見石保存・活用調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～28年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業		
計画に記載している内容	国見町内において現在石工技術を継承している、職人の協力を得ながら石蔵や国見石を使用した建造物の悉皆調査を行い、件数や用途について把握する。併せて、利活用の検討と石工を含めた国見石の保存組織等の結成を推進する取組を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「旧小坂村産業組合石蔵」、「伊藤石材店石蔵」の測量及び調査を実施及び町内の石蔵平成28年3月11日文化審議会において、「旧小坂村産業組合石蔵は、「石の町」を象徴する現存最大規模の歴史的建造物であると共に、石造建築技術の発展と石蔵の普及に貢献した証左として価値が高く、登録有形文化財の登録基準のうち「国土の歴史的景観に寄与しているもの」および「再現することが容易でないもの」に該当すると答申された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



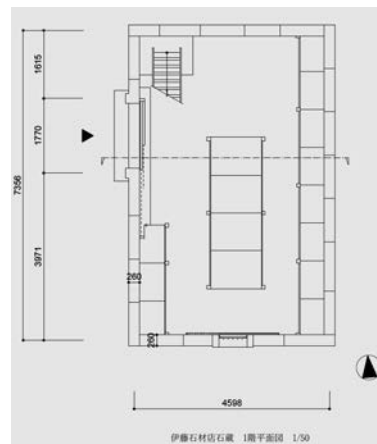
旧小坂村産業組合石蔵



測量調査の状況(外部)



測量調査の状況(内部)



伊藤石材店 1階平面図

評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26～27年度
項目	現在の状況	
歴史を活かしたまちづくり推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～36年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)、町単独事業

計画に記載している内容 歴史を活かしたまちづくりや町並み・景観の維持・向上に関して住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウムの開催を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史を活かしたまちづくりを進めるため、様々な視点で歴史まちづくりシンポジウムを開催した。  
 ①旧奥州街道藤田宿の魅力を再発見する「まち歩きと国見町の魅力」と題して講演会を開催(50名参加)  
 ②「国見町の社寺や堂について」(寺社建築物調査中間報告)を開催(80名参加)  
 ③「人々の祈りと祭礼、そして伝統文化がもつ力」と題して講演会を開催(70名参加)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



タイトル	年月日	概要等	参加者
第1回歴まちシンポジウム	平成26年6月8日	歴史を活かした国見町のまちづくり	130名
第2回歴まちシンポジウム	平成26年8月9日	歴史的まちなみと石のまち国見	100名
第3回歴まちシンポジウム	平成26年10月19日	千年村の意義と千年のまち国見について	100名
第4回歴まちシンポジウム	平成27年3月21日	国見町の歴史まちづくり	110名
第5回歴まちシンポジウム	平成27年6月20日	「まちあるき」と国見まちの魅力	50名
歴史を活かしたまちづくり講演	平成27年8月30日	国見町寺社建築物調査中間報告会	80名
歴史を活かしたまちづくり講演	平成27年10月17日	人々の祈りと祭礼そして伝統文化がもつ力	70名

評価軸③-6  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26～27年度
情報発信拠点整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業

計画に記載している内容 本町の歴史に関するエンタランス的な情報発信拠点を整備し、訪問者が本町の歴史文化遺産に係る情報を容易に入手できるよう利便性の向上を図るため、「道の駅」の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「道の駅くにみ」の概要  
敷地面積:約28,000㎡、建築面積:3,233.27㎡、床面積2,726.87㎡、駐車台数170台(大型トレーラー用含む)  
平成28年2月竣工予定

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
□計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



完成予想図



現場管理 仮設工事



評価軸③-7  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26～27年度
項目	現在の状況	
文化財保存ガイダンス施設整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成28年度

支援事業名 地域の特徴ある埋蔵文化財活用事業(文化庁)

計画に記載している内容 旧大木戸小学校校舎を、歴史文化に関する貴重な資料の収蔵・保管・展示の施設として整備し、来訪者への阿津賀志山防塁等のガイダンス及び周遊拠点として活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧校舎1階の一部347.72㎡を改修する計画。平成27年度は、研修室1・2、トイレ、作業室、収蔵室、浄化槽設置の工事を完了。工事全体計画の50.4%が完了。平成28年度に継続して工事を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧大木戸小学校



住民説明会(9月26日)



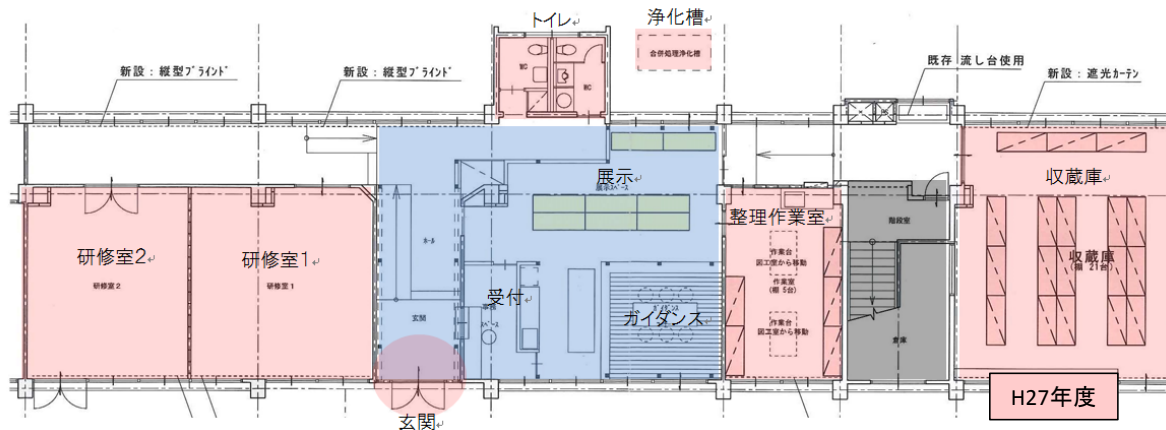
研修室1



作業室



収蔵庫



評価軸③-8  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
		現在の状況	
案内ボランティア育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～36年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	本町を訪問する観光客や小中学校の児童・生徒に対し、町の歴史や人々の伝統的な活動、町並みと現在の国見町について語るができる人材の育成を図る。案内ボランティアの養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本町には、様々な時代や生活文化を反映した文化財があり、案内をするボランティアの育成を図った。 ①国見町文化財ボランティアの研修会 3回実施 のべ44名参加 ②まち歩き講演会に合わせ、参加者に実際にまち歩きを講師をガイドとして体験(30名参加)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



国見町文化財ボランティア研修会  
「案内ガイド実践研修(阿津賀志山防塁)」



国見町文化財ボランティア研修会  
まほろん特別展示見学および講演聴講



「まちあるき」と国見町の魅力  
まちあるき体験

評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
		現在の状況	
周遊性向上検討・案内板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～32年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	来町する観光客が、本町の点在する文化財を効率よく、かつ楽しみながら観光できるより良いルートを検討し、周遊案内板の設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度は、観光客に見てもらいたい地域資源の発掘を目的に周遊性の検討を行った。 ①平成28年3月26日(土) 第1回旅づくり塾ワークショップの開催(31名参加)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



ワークショップの様子



グループの検討



グループ発表

## 評価軸③-10

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
			現在の状況
地域の文化遺産の総合的な把握のための調査事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～33年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業、町単独事業		
計画に記載している内容	本町における多様な文化遺産の総合的な把握に向けて調査を行う。基礎的な調査・研究により情報の蓄積を行い、「歴史文化基本構想」の策定に向けた取り組みを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
町内には約40の神社があり、春と秋の祭礼について調査・記録を行った。祭礼での神輿渡御の様子や、直会では特徴的な地元の食などが提供される。現在の状況について記録した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
■各種祭礼調査			
タイトル	年月日	概要等	
国見神社例大祭(石母田地区)	平成27年4月3日	例大祭調査(記録撮影・聞き取り)	
小牛田山神社例大祭(森山地区)	平成27年4月3日	//	
神明神社例大祭(森山地区)	平成27年4月3日	//	
御滝神社滝普請(光明寺地区)	平成27年4月5日	滝普請調査(記録撮影・聞き取り)	
国見神社例大祭(高城地区)	平成27年4月5日	例大祭調査(記録撮影・聞き取り)	
厳島神社例大祭(川内地区)	平成27年4月12日	//	
御滝神社例大祭(光明寺地区)	平成27年4月12日	//	
青麻神社例大祭(石母田地区)	平成27年4月12日	//	
貴船神社例大祭(泉田地区)	平成27年4月19日	//	
秋葉神社例大祭(貝田地区)	平成27年4月19日	//	
深山神社例大祭(鳥取地区)	平成27年4月19日	//	
福源寺観音堂法会(鳥取地区)	平成27年4月19日	観音講法会(記録撮影・聞き取り)	
春日神社例大祭(内谷地区)	平成27年4月19日	太々神楽(記録撮影・聞き取り)	
医薬神社祭礼(藤田地区)	平成27年8月14日	例大祭調査(記録撮影・聞き取り)	
鹿島神社例大祭(藤田地区)	平成27年10月23～24日	//	
■食文化調査			
タイトル	年月日	概要等	
おかあちゃんの茶話会(7-9337)	平成27年12月18日	地域の食文化を掘り起こす	
年中行事・郷土食・食材聞き取り	平成28年2月3～13日	基礎調査(行事食と食材)	
食の文化祭	平成28年3月19日	行事食等・郷土食調査(162品)	

評価軸④-1  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
			現在の状況
文化財の維持・修理に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	経年劣化や災害等の外的要因によるき損の恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、き損した場合の適切な修理が求められる。所有者等による適切な維持管理と日常的な点検を行うことで損傷の早期発見に努め、必要に応じて、所有者等の意識向上のための適切な助言を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国史跡「阿津賀志山防壘」ほか町史跡等における草刈 10か所 福島県重要文化財(建造物)「旧佐藤家住宅」燻蒸作業 4回実施 個人所有文化財の管理状況確認および助言の実施 文化財パトロールの実施、国特別天然記念物「ニホンカモシカ」に関する取組			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



県重文「旧佐藤家住宅」燻蒸作業



国史跡「阿津賀志山防壘」草刈作業



町指定文化財の現況確認状況



国特別天然記念物「ニホンカモシカ」滅失個体記録作業

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
			現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本町は、国見町観月台文化センター内の歴史資料室が、文化財を展示・活用する施設となっているが、博物館的機能や町の文化財を総合的に情報発信する機能は十分ではない。このことから、今後これらに関する機能を持ち合わせた施設の整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①文化財保存ガイダンス施設整備事業(評価軸③-2参照) ②「義経の腰掛松」解説板改修工事の実施 江戸時代からの名所となっている「義経の腰掛松」にかかわる解説板の内容を改良したもの(1基)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
義経の腰掛松看板改修状況			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
			現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	文化財周辺の景観を阻害する要素の改善や除却を推進するとともに、文化財の説明板や案内板、誘導サイン等の公共サイン、便益施設等の公共施設を新たに設置する際や劣化によりその機能を発揮できていないものを再整備する際は、文化財や周辺の環境と調和したものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡公園における景観を阻害する樹木の伐採・除去を2件実施する 史跡公園における劣化の著しい施設の除去を2件(覆屋・解説板)行い、仮設覆屋施設の設置を行う。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後</p> </div> </div> <p>町史跡「岩淵遺跡」における景観阻害樹木の除去</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後</p> </div> </div> <p>「義経の腰掛松」における劣化施設の除去</p>			

評価軸④-4  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
			現在の状況
文化財の防災に関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	火災や地震等の災害による文化財の損失を防ぐため、個別の有形文化財毎に防災対策を検討する等、被災リスクの予防・軽減を図る。不幸にも、文化財が被災してしまった場合は、その後の防災対策に役立てるため、被災履歴を記録する体制を整える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①防火に対する取組 ・国見町消防団と連携し、町内文化財の消防訓練を町内5か所で実施(1月24日) ・「文化財防火デー」の取り組みおよび火災への備えを周知するポスターの作成および広報 ②被災文化財に対する取組 ・「阿津賀志山防塁」の被災(9月10日)。養生措置および記録作成(平成28年度に継続)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



消防訓練の様子(左:町史跡「岩淵遺跡」、右:寺社仏閣)



文化財防火デー周知ポスター



平成27年9月関東東北豪雨による阿津賀志山防塁の一部崩落状況



養生状況



評価軸④-5  
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成26～27年度
項目	現在の状況	

文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------	--	---

計画に記載している内容 案内板等の設置やパンフレット等の作成・配布とともに、国見町文化財ボランティア等によるガイド活動や講演会・シンポジウムなどのイベントの開催等により、文化財に対する普及・啓発を広く図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



■文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組

タイトル	年月日	概要等
奥山家ディナー(くにもしゅらん)	平成 27 年 4 月～6 月	奥山家でディナーコンサート 3 回延べ 50 名
総合学習での地元学の取り組み①	平成 27 年 6 月 12 日	国見小学校 6 年生史跡探検隊 70 名
奥山家一般公開(善経まつり)	平成 27 年 9 月 20 日	奥山家住宅洋館を一般公開 652 名来館
旧佐藤家住宅公開	平成 27 年 10 月 30 日～	民話の会民話語り、内谷太々神楽公演
かまど de ご飯(産業祭)	平成 27 年 11 月 7～8 日	国見石のかまどでの炊飯実演 300 食提供
アフタヌーンティーパーティ	平成 27 年 12 月 12 日	奥山家洋館英国式ティーパーティ 32 名参加
だるま市紹介ブース出展	平成 27 年 12 月 29 日	年末恒例伝統行事「だるま市」を紹介
かまど de ご飯(短大フィールドワーク)	平成 28 年 1 月 9 日	国見石のかまどでの炊飯実演 100 食提供
かまど de ご飯(福大ミュージアム)	平成 28 年 1 月 24 日	国見石のかまどでの炊飯実演 150 食提供
阿津賀志山防塁の真相に迫るⅢ	平成 28 年 1 月 30 日	平泉から見た阿津賀志山防塁 160 名参加
奥山家一般公開(フードフィスタ)	平成 28 年 3 月 6 日	和室館で江戸時代の雛飾り展示 651 名来館
総合学習での地元学の取り組み②	平成 28 年 3 月 9 日	国見小学校 3 年生鹿島神社例大祭 60 名
文化財ボランティア案内件数	平成 27 年度	34 件 1,160 人

評価軸④-6  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26～27年度
		現在の状況

文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------	---

計画に記載している内容  
本町にある多くの文化財や歴史的遺産は町の成り立ちに大きく関わっている「国見のたからもの」であり、意識が醸成される過程で自らの町の歴史性や風土、この地に伝わる伝統や人々の共同体としての意識が培われていき保存・継承活動に対する理解も深まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

町民にとって身近な町の広報紙「広報くにみ」で町内の歴史的、文化的に貴重な「たからもの」を募集・紹介。「国見のたからもの」の写真とその解説を毎月掲載。平成26年6月号から平成28年4月までに23回掲載。

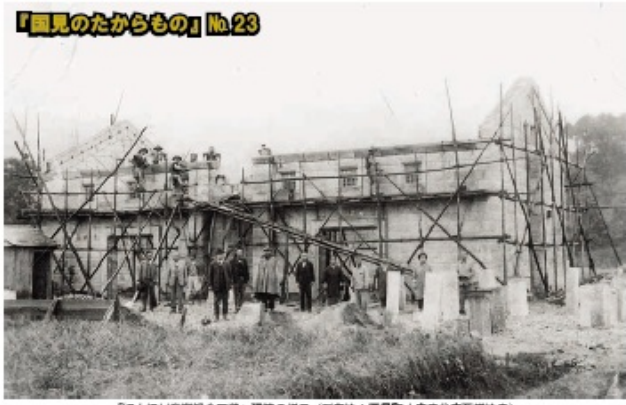
進捗状況 ※計画年次との対応  
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



旧奥州街道国見峠長根跡 (所在地：国見町大字大木戸字長根町内)  
江戸時代の東北と江戸を結んだ大動脈。多くの旅人や大木が付き来し、松尾芭蕉も『奥の細道』にて峠の平さを記しています。崩壊が繰り返される。当時の面影と国見が古代から続く交通の要衝であることを今に伝えています。  
今月号より、国見町の各地でキマリと輝く「たからもの」を紹介していきます。身近にある国見遺産にあなれも足を運んでみませんか。  
【問い合わせ】歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967



「旧小坂村産物組合石蔵」建物の様子 (所在地：国見町大字内谷字西堂地内)  
昭和16年建築の「旧小坂村産物組合石蔵」は国見石を使用した石蔵として町内最大規模を誇っています。この石蔵は、当時の米穀給ひつぱにより、産物組合による一元集約のための穀蔵として建築されました。町内でも珍しい「木骨石造」で、石壁の完成後に木造の軸組・小間組を施工したと考えられます。3月11日に開催された国の文化審議会、国見町有形文化財に相応しいものとして審中されました。また1つ、国見のたからものが増えました。  
【問い合わせ】歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967

評価軸④-7  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成26～27年度
			現在の状況
埋蔵文化財の取扱いに関する取組			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	本町における「周知の埋蔵文化財包蔵地」は、126ヶ所存在する。これらは地域の歴史を語る重要な歴史的資料であり、文化財保護法に基づく保護が求められる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
住宅建設および開発計画に伴う試掘調査を7件(うち東日本大震災からの復興事業に伴うもの1件)実施し、道路建設に伴う記録保存調査を1件実施した。このほか国史跡「阿津賀志山防塁」にかかわる現状変更が3件あり、工事立会などを実施している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



- |  |
|--|
| 開発に伴う試掘調査実施遺跡<br>・山崎条里遺構 5件<br>・佐野台館跡 1件<br>・阿津賀志山防塁 1件<br><br>開発に伴う本調査実施遺跡<br>・塚野目城跡 1件 |
|--|

佐野台館跡試掘調査(復興交付金埋蔵文化財事業)



開発計画に伴う阿津賀志山防塁試掘調査(外堀検出状況)



開発に伴う塚野目城跡本調査(堀跡検出状況)

評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成26～27年度
文化財の保存・活用に関わっている民間団体と連携・協力した取組		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 当町には、文化財の調査・発信をしている団体や、無形の民俗文化財を保護するために活動している団体等、多種多様な活動を展開している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【町内団体】

- 国見町郷土史研究会による講演会の開催(5月30日、11月24日)、文化祭展示
- 内谷春日神社太々神楽保存会による文化祭における神楽公演(11月1日)
- 国見町中尊寺蓮育成会による中尊寺蓮の育成、講演会(7月11日)、絵画コンクールの開催
- 国見伝統文化保存会による鹿島神社例大祭フォトコンテスト実施
- 小坂まちづくりの会によるウォーキング大会等イベント開催

【町外団体】

- JR東日本による「駅からハイキング」の開催
- 福島県史学会総会・研究報告会の開催(6月27日) 70名参加
- 福島大学域学連携事業(内谷集落活性化、貝田まるごと博物館)
- 桜の聖母短期大学域学連携事業(貝田フィールドワーク)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



福島県史学会総会・研究報告会の開催(6月27日)



国見町中尊寺蓮育成会による中尊寺蓮の絵画コンクール

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度
		平成26～27年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
「旧小坂村産業組合石蔵」国登録文化財を目指す。町が調査	平成27年5月31日	福島民報
貝田宿まつり	平成27年4月23日	福島民報
歴史を活かしたまちづくり、歴史まちづくりシンポジウム	平成27年6月23日	福島民報・民友
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
<p>●旧小坂村産業組合石蔵登録に関する記事                  「旧小坂村産業組合石蔵」国登録文化財を目指す。町が測量調査(平成27年5月31日 福島民報)                  国見の石蔵、活用探る(平成27年6月1日)                  「旧小坂村産業組合石蔵」国登録有形文化財に文化審議会答申(平成28年3月12日 福島民報・福島民友)</p> <p>●祭礼・イベントに関する記事                  貝田宿まつり、町が歴史まちづくりについて講演会(平成27年4月23日 福島民報)                  国見・鹿島神社フォトコンテスト(平成27年11月26日 福島民報・福島民友)                  優雅に茶会国見の奥山家住宅(平成27年度12月18日 福島民報)                  縁起物もとめて国見町で「だるま市」(平成27年12月31日 福島民報)                  旧宿場町の国見・貝田地区歴史や文化紹介(平成28年1月14日 福島民報)                  貝田地区の魅力満載 国見で福大生調査報告(平成28年1月26日 福島民友)</p> <p>●講演会・シンポジウムに関する記事                  歴史まちづくりシンポジウム(平成27年6月23日 福島民報・民友)                  歴史まちづくり新聞特別号発行(平成27年6月23日 福島民友)                  歴まち認定などを学ぶ国見町が風致計画説明(平成27年8月24日 福島建設工業新聞)                  町の歴史的建造物紹介(平成27年9月1日 福島民友・民報)                  町の歴史を活かしたまちづくり講演会(平成27年10月20日 福島民報)                  国見の伝統料理紹介 食の文化祭(平成28年3月21日 福島民報)                  我が家の自慢料理集合 国見で食の文化祭(平成28年3月22日 福島民友)</p> <p>●阿津賀志山防塁に関する記事                  防塁の一部を追加指定 国史跡文化審議会答申(平成27年11月21日 福島民報・福島民友)</p>		

評価軸⑥-1  
 その他(効果等)

評価対象年度	平成26～27年度
項目	

文化財の保存・活用の普及・啓発による効果

本町では、本町の文化財の活用を効果的に行うために、町内外の多くの人々に文化財の存在を知ってもらい理解してもらう機会を提供する、普及・啓発の取り組みを行ってきた。奥山家住宅などの歴史的建造物等については、町のイベントや文化財公開デーなどの機会に内部を公開し、町内外の人々へ魅力を発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

奥山家洋館・主屋の一般公開	来館者数	うち町外者	町外者の割合
平成26年9月23日実施 義経まつり	440	290	65%
平成27年9月20日実施 義経まつり	652	529	81%
平成28年3月5日実施 奥州街道フードフェスタ	651	365	56%

進捗状況 ※計画年次との対応

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



平成27年9月 奥山家洋館一般公開 町外からの来館者が多数訪れた。  
 来館者数は、歴史まちづくり計画の認定後の平成27年が伸びている。特に、町外の方の割合がH26年度65%からH27年度81%と大きく伸びており、歴史まちづくり計画認定と事業の実施による効果が表れている。



平成28年3月 奥山家主屋一般公開 町外からの来館者が多数訪れた。(町外56%)  
 この日は、江戸時代後期のひな人形も飾られた。

評価対象年度	26年度～27年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:第2回国見町歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:平成28年4月20日 午後1時30分～午後3時20分	
(コメントの概要)	
【進捗評価について】	
①鹿島神社例大祭のパンフレットは、来町される方に配布しPRをして行くうえで3000部では不足ではないか。また、主な会議や講演会の講師のパワーポイント等の資料をホームページにあげ、広く情報提供したらどうか。	
②奥山家住宅のアフタヌーンティーパーティなど文化財を公開し、素晴らしさをいろいろな人に分かるようにPRし広めていくことが町づくりのきっかけになるので、町外へもPRの仕方を考えて行き、また参加費をしっかりと、こうした取り組みを成長させ、国見の観光に結び付けていってほしい。	
③じゃらん旅づくり塾は、国見町の旅を住民が皆で考えプロデュースしていき、20代から65歳という幅広い年代層の参加者が、実際のまちづくりに関わり、さらに交流の懸け橋になれば素晴らしいことだと思う。開拓をどんどんして行ってほしい。	
④建造物悉皆調査、石蔵調査は、「国見の独自の建築はどのようなものなのか」という事を将来まとめるためにも、一次調査の段階からしっかりやっていくべきではないかと感じた。本格調査につながるためだけの外観調査ではなく、国見独自の建物の傾向や特徴を感覚的に見つけ、つながりが分かるような調査の仕方をしてほしい。	
⑤悉皆調査をしているグループと石蔵をピックアップし詳細調査を行っているグループがあるが、情報交換しリンクさせながら国見の素晴らしい建築遺産を発掘してほしい。	
⑥建造物悉皆調査は、空き家対策と同じような調査となるので連携して実施できたらよい。空き家の中には文化財に匹敵するような貴重な建物もあるが空き家ということで壊さなければならぬ場合があり、町としても保存活用の支援の対策をしてほしい。	
(今後の対応方針)	
①: 例大祭当日に訪れた町外の方を中心に配布した。対象を絞るなどより効果的なPRに努める。講演会等の資料はホームページでの閲覧などに供したい。	
②・③: 文化財の保存と活用を推進するため、引き続き、魅力的・効果的な取り組みで情報発信・PRに努め、案内ボランティアの育成を図ることで観光に結び付けていく。	
③・④・⑤各事業の結びつき・連携を図るため、庁内検討委員会で情報共有しながら進める。特に、石造建築物(石蔵)と悉皆調査については効率的な事業の推進に努める。また、歴史まちづくり計画が認定されて、住民の意識も変化してきていることもあり、空き家の実態調査を活かしながら、悉皆調査を進めることで、町並みや歴史的建造物の保存活用の支援について検討していく。	